

學 事

狀 況

總 說

明治四十四年度ニ於テ掌理シタル教育事務ノ梗概ヲ舉ケルハ前年施設セルモノヲ繼繼シテ學齡兒童就學及出席ノ督勵校舍校具ノ設備完成ヲ計リ且ツ小學校令施行規則ノ改正ニ伴ヒ農業實習ニ重キヲ置カシムルノ方針ヲ以テ實習地ノ施設ヲ獎勵シタルニ由リ今ヤ各校多少ノ實習地ヲ有セサルモノナキニ至レリ

師範學校中學校高等女學校及實業學校等ニ在リテハ從前ノ方針ニ依リ一層内容ノ改善ニカメ校舍校具ノ設備ノ完成ヲ期セシコトニ注意セリ

學 齡 兒 童

學齡兒童就學ニ關シテハ從來ノ如ク法令ノ示ス所ニ依リ之カ督勵ヲ爲シ又一面市町村ニ於テハ教育會學齡兒童保護會等ヲシテ貧困兒童ニ對シ食費ノ一部給與又ハ學用品ノ給與貸與ヲ爲サシメ以テ就學ノ獎勵ニ勉メ本縣ヨリモ教育獎勵資金中ヨリ獎勵金ヲ交附シ其ノ事業ヲ補助シ疾病不具癱疾又ハ極貧者ニシテ止ムヲ得サルモノノ外ハ免除猶豫ヲ爲サザリキ即チ學齡兒童ノ總數ハ男五萬五千七百五十六人女五萬千八百六十一人其ノ内就學ノ始期ニ達シタル者男四萬八千七百六十三人女四萬五千百十人ニシテ就學ノ歩合ハ男九十九人一分四厘女九十七人四分四厘平均九十八人三分二厘ナリ之ヲ前年ニ比スルニ學齡兒童總數ニ於テ男九百六人女三百五十七人既ニ就學ノ始期ニ達シタル者ニ於テ男五百六十八人女百三十八人就學歩合ニ於テ男女各六厘平均七厘ナリ何レモ減少シタルハ出生ノ減少ハ學齡調整ノ結果往々學齡短期ノ者及他ヘ移住シタル者アルヲ發見シ之ヲ削除シタルト且ツ解釋ヲ誤リ學齡以外ノ者ヲ計入シタル町村アリ之ヲ訂正シタルニ由ルモノナリ

小 學 校

學校設置廢止並設備 學校數ハ尋常小學校百九十一校尋常高等小學校百八校高等小學校二校外ニ尋常分教場百二十六アリ之ヲ前年ニ比スルニ尋常小學校十六校高等小學校一校ヲ減少シ尋常高等小學校三校分教場八校増加シタリ是レ市町村費ノ輕減教育上ノ統一ヲ圖ランカ爲メ廢合ヲ行ヒタルト又高等科併置ノ必要ヲ認メタルモノヲ増加シタルノ結果ナリ設備ハ概シテ完成シタルモ尙校舍ノ改築増築ヲ要スルモノナキニアラス

學級編制 學級ハ尋常小學校八百四十學級尋常高等小學校ニ於テ尋常八百十二學級高等百四十四學級高等小學校十八學級ニシテ前年ニ比シ尋常科三十五學級高等科四學級ヲ増加セリ

二部教授 本年度末ニ於テ二部教授ヲ爲スモノ四校內全部ノ兒童ニ對シテ爲スモノ三校一部ノ兒童ニ對シテ爲スモノ一校ニシテ何レモ校舍ノ増築改築ノ爲メ一時行フモノニ屬ス補習科及加設科目 補習科ヲ設置スルモノナシ

尋常小學校及同分教場ニ於テ手工ヲ加設スルモノ百五十七尋常高等小學校尋常科及同尋常科分教場ニ於テ手工ヲ加設スルモノ百十六合計二百七十三ニシテ尋常高等小學校高等科及高等小學校ニ於テハ加設科目ヲ課スルモノ百八校ニシテ尋常高等小學校高等科ヲ除クノ外皆加設科目ヲ課ス即チ農業ヲ課スルモノ六十四校ニシテ最モ多ク之ニ亞グモノ手工農業二十七校單ニ手工ヲ課スルモノ三校手工ト農業ト商業トヲ課スルモノ三校農業ト商業トヲ課スルモノ手工農業英語ヲ課スルモノ手工農業商業英語ヲ課スルモノ各二校商業ノミヲ課スルモノ手工ト商業トヲ課スルモノ商業ト英語トヲ課スルモノ各一校ナリトス

授業料 尋常小學校ニ於テ授業料ヲ徵收スルモノ福井市ニ八校他ニ一校アルノミ高等小學校ニ於テハ概ネ授業料ヲ徵收ス即チ總數百十校ノ内授業料ヲ徵收セサル者十校ニ過キス而シテ尋常科第五六學年ニ限り授業料ヲ徵收スルモノナシ

教員 本年度末ニ於ケル本科正教員ノ數ハ千三百七十二人ニシテ前年ニ比スレハ九十九人ヲ増加シタルモ學級數ニ比スルトキハ尙百五十一人ノ不足ヲ見ル是ハ准教員代用教員等ヲ以テ補助シ居レリ

教員勤續者ハ年々其ノ數ヲ増シ本科正教員中勤續三十年以上二人、二十五年以上三十人、二十年以上五十七人、十五年以上八十七人、十年以上百九十人、五年以上三百二十九人ナリ

教員俸給ハ尋常小學校ノ教授ニ從事スル小學校本科正教員ノ資格ヲ有スル者ノ男貳拾壹圓參拾五錢八厘女拾四圓七拾六錢九厘尋常小學校本科正教員ノ資格ヲ有スル者ノ男拾五圓九拾六錢七厘女貳拾圓四拾六錢七厘高等小學校ノ教授ニ從事スル者ノ男貳拾參圓四錢四厘女拾九圓八拾參錢貳厘ノ平均額ナリ之ヲ前年ニ比スルトキハ何レモ増額ナラサルハナシ年功加俸ハ其成績ノ良好ナル者ニハ之ヲ支給ス而シテ教員勤續者ノ増加ト共ニ第一回第二回ノ年功加俸ヲ支給スル者漸ク増加セリ

幼 稚 園

幼稚園ハ現在市立一、町立一、私立二、合計四ニシテ前年ニ比シ増減ナシ市立順化幼稚園ハ小學校內ニ設置セララルヲ以テ設備稍完全ナルモ町立小濱幼稚園ハ本年度中園舎ノ擴張ヲ企圖セシモ延期スルコトトナリ目下保育室ハ和洋折衷ノ風ニ

シテ保育ノ狀況普通ナルニ拘ラス入園希望者漸次増加シ希望者ノ全員ヲ收容スルヲ得ス私立二幼稚園ハ何レモ米國宣教師ノ設立スル所ニシテ基督教會附屬ノ當該牧師住宅ヲ以テ之ニ充ツ隨テ規模小ニシテ設備亦充分ナラス

福井縣師範學校

學校ノ設備 本學年ノ初ニ於テハ敷地一萬三千三百二十五坪七合一勺農業實習用借地(民有)田二百九十九坪畑千六百五十二坪樹栽實習用借地(本縣摸範林)一萬八千坪建家二千八百八十坪一合四勺橋梁十五坪二合ヲ有シタルカ更ニ本年度ニ於テ女子部作法室及家事實習室ニシテ金四千參百餘圓ヲ投シタル一棟ヲ建テ其ノ他廊下及附屬小學校圍園等ヲ改築シ又教授上必要ノ器械標本圖書等モ漸次購入シ設備ノ完成ニ勉メタルモ小學校正教員養成ノ爲ニ講習科ヲ開設シタルヲ以テ教室ニ不足ヲ告ケタリ

有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別 有資格教員ハ總テ二十六人ニシテ男二十三女三人ナリ是等ハ皆教諭ニシテ助教諭ナシ教員免許狀ヲ受得シタル事由ヲ擧クレンハ次ノ如シ

東京高等師範學校理科卒業	1
東京高等師範學校本科英語部及研究科(倫理教育)卒業	1
同 本科數物化學部卒業	2
同 地理歷史專修科卒業	1
同 國語漢文專修科卒業	1
同 本科博物學部卒業	1
同 修身教育專修科卒業	1
同 國語漢文撰科卒業	1
廣島高等師範學校本科英語部卒業	2
東京音樂學校甲種師範科卒業	1
東京高等商業學校附設商業教員養成所卒業	1
東京物理學校卒業	1
東京體操傳習所卒業	1
東京美術學校彫刻科卒業	1
東京帝國大學農科大學附屬農業教員養成所卒業	2
東京日本體育會體操學校卒業	2
其他試驗檢定	3
以上 男子	23
東京女子高等師範學校理科卒業	1
同 文科卒業	1
同 技藝科卒業	1
以上 女子	3

生徒訓育ノ狀況 生徒ヲシテ將來ノ目的ニ對スル自覺ヲ確實ナラシメ其ノ修養ニ勉メシムルノ氣象ヲ作興スルハ訓育ノ要訣ナルヲ以テ前年度ト同シク大ニ此ニ意ヲ用ヒシモ其ノ進歩遅々タルヲ免レズ女子ニ在リテハ質素堅實ノ諸目ニ關スル涵養ニ力ヲ用ヒ特ニ綿密貞淑親切等ノ諸德ヲ養ヒ女子トシテノ長所ヲ發揮ヒシメ且ツ作法裁縫家事等ノ如キ學業

ニ力ヲ用ヒシコトヲ獎勵セリ 本年度ニ於テ懲戒處分ヲ加ヘタルモノナシ特ニ訓誡ヲ加ヘシモノ數名アリシモ亦風紀頹廢ニ基ケル性質ノ非行ト認ムヘキモノナシ

第二部生徒ニ就キテハ小學校教員タルノ志操ヲ確實ナラシムルニ修業年限ノ短キヲ遺憾トスルモ先相當ノ卒業生ヲ出スヲ得タリ 學級擔任ヲ命スルゴト前年ニ同シク各級一名ヲシテ擔任セシメ且ツ前學年ト同一ノ生徒ヲ受持タシメタルニ依リ師弟間ノ親交一層其ノ度ヲ加ヘ謙陶ノ効果尠カラサリシヲ覺ユ夏期水泳植樹學校園經營懲戒等ノ制裁女生徒ノ服裝ニ就テハ前年ノ如ク施設シ寄宿舎ニ於ケル組織清潔灑掃職員生徒ノ會食炊事振替貯金購買組合等校友會ニ於ケル運動ノ獎勵修辭ノ練習職員生徒ノ死亡者ニ對スル追弔吉凶送別その他慈善義捐等概ネ前年ニ異ナルコトナシ尙最上級生ノ教育實習中實習生ト研究生トニ分チ實習生ハ專ラ實地練習ニ當ラシメ研究生ハ實地練習ノ傍各教科ニ就キテ小學校ノ教材教具及教科書ヲ研究セシメタルニ生徒ヲシテ稍適切ナル智識技能ヲ得セシメタルカ如シ但シ第二部男生ハ此ノ區別ニ據ラス又女子生徒ヲシテ家事科ノ實習ヲ寄宿舎炊事ニ關聯セシメ副食物ノ調理食器ノ洗滌整理等ヲ爲サシメ第三學年女生ニハ實業ノ趣味ヲ知ラシメシメ爲メ簽證ニ從事セシメ更ニ一般生ニハ勤勞ヲ重セシムル爲メ家庭ノ掃除花卉園菜園ノ經營ヲ爲サシメタリ

生徒學業ノ進否 豫備科ヨリ本科ニ進級シ第三學年ヲ修了スルモノアルニ至リシヲ以テ隨テ全校生徒ノ學力著シク進歩セルヲ認メタリ尙卒業期ニ近クニ隨ヒテ志氣漸ク弛緩スルノ傾向ハ大ニ減退シタルカ如ク好學心漸ク加ハレリ即チ本年度ニ於テ高等師範學校ニ入學ヲ希望セル者在學生中四名アリ皆合格セリ此ノ如キハ本校ノ目的ニ非ズ故ニ獎勵スヘカラサルモ亦本校生徒一般ノ學業進歩ト觀ルヘキナリ尙課外ニ於ケル自修モ著シク進歩セルモノアリ

生徒修學旅行ノ狀況 修學旅行トシテハ第四學年男生三十八人ヲ率ヒテ十二日間ヲ以テ東京日光橫濱須賀鎌倉等ヲ巡覽シ第三學年男生四十人ヲ率ヒテ五日間金澤地方ヲ巡覽シ又第三學年女生四十人ヲ率ヒテ六日間京坂地方ニ旅行シ琵琶湖大津疏水工事京都大坂神戸奈良等ヲ巡覽シタリ參觀旅行トシテハ第四學年男女生第二學年女生第二部男女生及講習科男生ヲ前後八回ニ別チ或ハ金澤或ハ縣内ニ四日間若ハ五日間ノ旅行ヲ爲サシメ小學校ヲ參觀セシメタリ其ノ他白山旅行水泳旅行發火演習旅行及遠足旅行ヲ爲サシメタルコト數回ニ及ビタリ

入學者父ノ兄職業 本科豫備科入學者父兄ノ職業別次ノ如シ

	農業		工業		商業		庶業		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
本科第一部	25	9	1	8	4	5	9	17	39	39
本科第二部	26	—	1	—	1	6	8	21	36	27
豫備科	28	18	1	2	—	6	8	12	37	38
總計	79	27	3	10	5	17	25	50	112	104

卒業者就職ノ狀況、本年度卒業者中高等師範學校へ入學四人、臨時教員養成所入學一人、病氣一人、學費辨償義務免除一人ヲ除クノ外ハ悉ク各郡市小學校教員トシテ採用夫々配置セリ、附屬小學校ニ關スル狀況、本學年度ニ於ケル施設事項ハ主トシテ前學年度ヨリノ事業ヲ繼續シ幾分ノ改正ヲ加ヘ益々其ノ趣旨ヲ貫徹實行スルニ勉メタリト雖モ亦多少ノ特色ナキニアラス

教授、專ラ兒童ノ實力養成ヲ以テ主眼トシ自習ヲ獎勵シ國語ニ關シテハ新ニ豫習復習帳ヲ制定シ尋常科第五學年以上ノ兒童ニハカメテ辭書使用法ニ習熟セシメ書方ニ關シテハ各學年共各自ニ清書帖ヲ使用スルコトヲシテ其ノ成績ヲ自認セシメ算術ニ關シテハ常ニ數字ヲ正確ニ記述セシメ思想ノ發表ヲ正確ナラシムルニ勉メ地理歴史ニ關シテハ讀義ヲ重シ不讀不解ノ文字句ナカラシムコトヲ期シ手工圖畫ニ關シテハ模倣ヲ避ケ自發的構成力ヲ養フニ重キヲ置キ理科ニ關シテハ實驗觀察ヲ重シ學校園兒童室等ヲ利用シ且ツ校外教授ヲ勵行シ體操遊戲ニ在リテハ体育ハ勿論訓練上重要ノ教科ト爲サンコトヲ期シ作法ハ尋常科第五學年以上ニハ要領ヲ筆記セシメ就中基本的動作ハ絶ヘズ實習ヲ爲サシメ商業科兒童ニハ共同購買部ノ賣子トシテ商業簿記ノ實習ヲ行ハシメタルニ敏速ナル計算ヲ爲シ記帳法ヲ習得スルニ於テ益

スル所少ナカラス
訓練、明治四十二年度以來尋常科第三學年以上ノ學級ニ於テ兒童週番ノ制ヲ定メ次ノ事項ヲ取扱ハシメツ、アルニ其結果良好ナリ

- 教師ノ指令ヲ兒童全般ニ傳フルコト
- 教師ニ對シテ全兒童ヲ代表スルコト
- 掃除教室出入教室ノ整頓等ノ諸規律ニ注意スルコト
- 特ニ兒童ノ言語姿勢行動ニ注意スルコト
- 其ノ他教師ヨリ命セラルル事項ヲ處理スルコト

郷土科教授、尋常科初學年ヨリ順次郷土生活ヲ理解セシメ兼テ他ノ諸教授ト聯絡シテ地理歴史理科等ノ基礎的觀念ヲ與ヘンカ爲メ目撃セル材料ヲ適當ニ教授スルニ勉メタリ、科外教育、兒童ヲシテ科外ニ於テ社會及自然ノ諸現象ニ關スル智識ヲ取得セシムルノ施設ハ昨年來繼續シテ變ル事ナシト雖モ兒童室ノ設備ニハ一層重キヲ置キ當校出身者ノ成績品ヲ陳列シ又農會及工場等ヨリ標本ヲ借入シテ觀覽セシメツ、アリ

通信雜誌、學校ト家庭ナル雜誌ヲ隔月ニ發行シテ學校ト家庭トノ聯絡及意思ノ疏通ヲ計リ居レリ

學用品共同購買、本年度ニ於テ商店ヨリ仕入タル總高四百壹圓拾四錢壹厘ニシテ前年度繰越ナ併セ六百壹圓七拾四錢九厘ニ上リ賣上總高五百參圓七拾參錢九厘ナリ即チ益金四拾圓餘ハ兒童各自ニシテ貯金セシメタリ此ノ如クニシテ本校所定ノ學用品ハ商店ニ於テ本校以外ニモ賣出シタルヲ以テ世上一般ノ學用品ヲ改良スルニ於テ亦多少ノ効果アリ

學校衛生、前年度來獎勵セル兒童深呼吸冷水摩擦ノ實行ハ勿

論殊ニ科外運動ヲ獎勵シ運動器具使用ノ時間ヲ定メ各學年ニ之ヲ爲サシメタリ兒童健康狀態ハ概シテ強健ナルモトラホームニ罹ル者尠ナカラス四百二十二ノ受檢者中六十一人ノ同患者ヲ出シタリ尙兒童ノ疾病負傷等ノ急救策トシテハ休養室ヲ設ケ簡易ナル藥品及器具等ヲ備ヘ置ケリ

學校園ハ二百十九坪ヲ有シ之ヲ教材園風致園果樹園蔬菜園ニ分チ尋常科第三學年以上ノ兒童ヲシテ管理セシメ一般兒童ヲシテ休憩時間等ニ觀察セシメ又一週一回之ニ就キ實地教授ヲ爲ス

教生指導、實地練習セル教生ニ關スル狀況次ノ如シ

練習期間	附屬校ニシテ練習シタルモノ	代用校ニシテ練習シタルモノ	計
自四月九日 至七月廿五日	本科第一部 第四學年男 39	6	45
同	講習科男 31	—	31
自九月一日 至十二月廿五日	本科第一部 第四學年女 25	9	34
同	本科第二部女 20	7	27
同	講習科女 14	7	21
自一月九日 至三月廿五日	本科第二部男 28	7	35
同	講習科男 31	—	31
計	188	36	224

其他一學年間ヲ通シテ教生ニ研究教授ヲ行ハシムルコト前後通シテ二十五回ニ及ヒ又特ニ教生數名ヲ一團トシ教材豫習會ヲ開カシメテ實地教授ノ具體的教案ヲ作成セシメテ其ノ中ノ一名ニ教授セシメタルニ好結果ヲ得タリ

地方トノ聯絡、地方小學校教員會及教育會等ノ需ニ應シ職員ヲ出張セシメ或ハ實地教授ヲ爲シ或ハ教授法ニ關スル講話ヲ爲シ或ハ教材研究等ニ關スル指導ヲ爲サシメタルコト十一回ニ及ヘリ又聯合教授法研究會ハ益々好況ニ向ヒ六月十七、八ノ兩日ニ開催シ其ノ結果ヲ印刷配付シタリ同會出席ノ各郡代表者六十八人傍聽者五十五人アリタリ又十一月二十二日公開研究教授ヲ開催シ批評會ヲ開キタリ來會者ハ小學校中學校ノ教員郡視學部長等六十八人ノ多キニ上レリ其ノ他甲種乙種講習員ノ爲ニ特ニ訓導研究教授ヲ行ヒシコト八回アリ

代用附屬小學校ニ關スル狀況、福井市ニ接續スル吉田郡圓山ニ西村立道明尋常小學校ヲ代用附屬小學校トスルノ約ヲ結ビ本年度ヨリ之ヲ實施セリ創設ノ際ナレハ專ラ準備整頓ニ從事シ未ダ研究ノ實績ヲ見ルニ至ラズト雖モ年度内ニ於テ漸ク大體ノ設備ヲ了シ教授訓練實施上支障ナキニ至ラシメタリ以上設備ノ爲費シタル金額五百拾參圓ニシテ同村ニ於ケル負擔額前年度ニ比シ經常費金貳百五拾圓臨時費金百五拾圓ノ同校費ヲ增加シタリ

教授ニ關シテハ地方ノ實際ニ適應セシメ形式ニ拘泥セス勉メテ兒童ノ實力養成ニ注意シ成ルヘク郷土ヲ出發點トシ一時ニ多クノ教材ヲ授クルコトナク少シツツ確實ニ授ケ各教科ノ特質ヲ誤ラス且ツ教案ニ拘リ意義精神ノ貫徹セサル授

業トナラサルコト劣等生取扱ニカヲ注クコトヲ主トシ家事ノ都合ニ依リ缺席多キ兒童ニハ執務ノ繰替ヲ爲シ教生若ハ訓導ヲシテ別室ニ於テ特別ニ教授ヲ爲サシメタリ
 訓練ニ就キテハ別ニ校訓又ハ訓練綱領等ヲ設ケス只教育勅語ヲ基礎トシ常ニ之ニ背カサラシコトヲ努メ且ツ校風ノ長短ヲ考ヘ質朴從順等ノ長所ハ之ヲ維持シ言語ノ粗野身體衣服ノ不潔規律ノ正シシカラザルコト禮儀ノ念乏シキコトノ如キ短所ハ矯正スルニ勉メタル結果大ニ面目ヲ改メタリ其他課外教育學用品共同購買等ノ施設アレトモ特筆スヘキモノナシ

兒童ノ衛生狀態ハ殆ト全部農家ノ子弟ナルカ故ニ身體概シテ發達良ク孱弱ノ者僅少ナルモ眼疾トラホームニ罹レル者受檢人員百二十三人中三十人ノ多キヲ見ルハ遺憾トスル所ナリ又學校ニ於テハ體操ノ外腕力蹴健脚ノ養成ニ勉メリ
 教生ノ指導ニ就キテハ成ルヘク農村小學校ノ實際ヲ知ラシメンコトニ勉メ校内ニ於テハ教授訓練等ノ研究ヲ爲スノ外就學ノ督勵家庭訪問等ニ訓導ノ教生ヲ引率シテ家庭ノ實況ヲ觀察セシメ時々校下ヲ巡視シテ校外ニ於ケル兒童ノ狀況等ヲ觀察セシメタリ又毎日授業參觀ヲ爲シテ批評スルノ外各練習期中一回乃至三回ノ特別研究教授ヲ爲サシメ且ツ業後批評會ヲ開キテ研究ヲ爲サシメタルコト八回ニ及ヘリ

教員講習科及其ノ他臨時施設ニ關スル狀況 尋常小學校正教員養成ノ爲ニ設ケタル講習科ハ本年度ノ修了者男三十人女二十一一人アリ第一回ノ修了者ニ比シ概シテ年齢若キモ成績好良ナリ

小學校正教員ノ學力補習ノ爲ニ設ケタル講習科ハ甲乙二種ニ分チ免許狀受得後五ヶ年以上ノモノヲ甲種トシ其ノ講習期ヲ四週間トシ五年以下ノモノヲ乙種トシ其ノ期間ヲ二週間トス員數ハ毎回四十人各郡市ニ配當シ郡市長ヲシテ推薦セシメ甲種二回乙種二回ヲ開催シタリ

又過去數年ノ例ニ依リ冬期講習ヲ十二月二十五日ヨリ六日間開設シタリ從來重ニ男子教員ノミノ聽講者ナリシカ本年ハ正教員ノ講習數回開設シタルニ依リ此ノ冬期講習ハ特ニ女子教員ノ爲ニ開設セシモノニシテ其ノ科目ハ圖畫手工裁縫ノ三科目ヲ撰ミタリ

中 學 校

學校ノ設置及設備 中學校ハ縣立四私立一ニシテ前年度ニ比シ増減ナシ縣立中學校ハ年ヲ經ルニ隨テ其ノ校舍ノ舊式又ハ朽廢ニ傾ケルモノナキニアラザルモ本年度ニ於テハ著シキ新築改築等ヲ爲シタルモノナク武生中學校ニ於テ小使室ヲ改築シタルノ外多少ノ修繕ヲ爲シタルニ止マルモ概シテ管理上教授上ニ大ナル支障ヲ見ス私立北陸中學校ニ在リテハ前年來ノ經營ニ係ル校舍ノ新築附屬建物體操場寄宿舍等ノ増築移築ノ如キ略十月ヲ以テ落成ヲ告ケタリ

圖書器械標本類ハ必要ノモノハ漸次購求スルヲ以テ教授上敢テ支障ヲ見サルモ參考書籍ニ至リテハ充分ト謂フヘカラサルモノアルハ止ムヲ得サル所ナリ

有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由

	縣 立					私立	合 計
	福 井 中 學 校	大 野 中 學 校	武 生 中 學 校	小 濱 中 學 校	北 陸 中 學 校	陸 合	
帝國大學文科大學史學科卒業	1	1				1	2
帝國大學文科大學史學撰科卒業			1			1	1
帝國大學文科大學英文學科卒業				1		1	1
帝國大學文科大學文學科卒業					1	1	1
帝國大學理科大學簡易科卒業		1				1	1
高等師範學校國語專修科卒業	1					1	1
高等師範學校英語科卒業	2					2	2
高等師範學校英語專修科卒業			1			1	1
高等師範學校理科卒業		1				1	1
高等師範學校歷史地理科卒業					1	1	1
高等師範學校國語漢文科卒業		1				1	1
京都高等工藝學校卒業		1				1	1
第一臨時教員養成所卒業	1	1				2	2
第二臨時教員養成所卒業			1	1		2	2
第三臨時教員養成所卒業				1		1	1
第四臨時教員養成所卒業					1	1	1
東京外國語學校卒業	1	2	1			4	4
東京美術學校卒業	1		1	1		3	3
私立青山學院高等科卒業		1	1			2	2
私立國學院大學高等師範部卒業			1			1	1
日本體育會體操學校卒業	1		1	1		3	3
私立日本大學高等師範部卒業	1					1	1
陸軍教導團步兵科卒業					1	1	1
私立早稻田大學高等師範部卒業				3		3	3
其他無試驗檢定	3					5	8
其他試驗檢定	14	4	6		6	3	33
總 計	26	12	17	11	14	8	77

生徒訓育ノ狀況

福井中學校 風紀生ヲ置キ校内生徒ノ風紀改善ニ勉メ格言ヲ掲示シテ修養ニ資セシム勤勞ヲ重セシムル爲メ教室内ノ掃除舍外ノ除草ヲ生徒ニ行ハシムルコト前年ノ如シ
 大野中學校 訓育ノ方法ハ前年ニ異ナラス而シテ本年度中不良行爲ノ靡アリ處罰生徒ヲ出セシコト四回ニ及ヒタルモ

當校周圍ノ風俗質素ニシテ都會地ト異ナリ概シテ輕佻浮薄ノ弊少ナク一時生徒ハボツクス革製ノ靴ヲ用ヒタルモ今ヤ規定ノ軍隊靴ヲ用ユルニ至レリ

武生中學校 一週一回ノ道徳上ノ訓話ヲ爲ス事及武道ノ獎勵有金圖書ノ閱讀勸誘生徒監ノ設置家庭トノ聯絡等ノ事ハ前年施行ノ如ク繼續シ尙本年ヨリハ生徒受持教員一同各教室ニ於テ晝食ヲ喫スル事トシ登校時ヨリ放課時迄ハ校外ニ出ツルヲ禁シ又二年二回以上各學友區毎ニ父兄會ヲ開キ教員モ之ニ出席懇談スル等訓育ニ資セリ

小濱中學校 學級監督ヲ置キ教員ト共ニ指導及風紀維持ニ勉メ又生徒宿所ノ訪問出席ノ獎勵勤勞ノ習慣ヲ養フコトニ盡カスル等其ノ他總テ前年ノ如シ

私立北陸中學校 訓育上ノ講話ヲ爲スコト個人調査簿等ヲ作製シ置クコト生徒監及級監督ヲ置キテ監督スルコト等總テ前年ニ同シ

生徒學業ノ進否 縣下中學校ニ於ケル生徒ヲ通シテ其ノ平均點ハ明治四十三、四十四ノ兩年度トモ七十二點ニシテ成績同様ナルモ各校ニ就キテ之ヲ觀ルトキハ平均點ノ増加シタルモノト反テ減少シタルモノトアリ而シテ福井中學校ニ於テハ數學及英語ハ制規ノ授業時數ノ外各週一時間ツ、ノ授業ヲ爲シタルヲ以テ此ノ二科ノ學力ハ相當進歩シタルヲ認ム又北陸中學校ニ於テハ明治四十三年組織變更以來學業ノ増進ニ努ムルコト二年ニシテ比較的學力不充分ナル者ニ對シテハ之カ補充ノ道ヲ講シタル結果大ニ學業ノ均一ヲ見ルニ至リ更ニ一般生徒ノ學業増進ヲ圖リ好學心ノ喚起ニ勉メタルヲ以テ一層良好ナル成績ヲ得タリ今各校ニ於ケル成績ヲ掲レハ左ノ如シ

	明治四十三年度				明治四十四年度			
	生徒ノ總數	落第者	落第歩合	總平均點	生徒總數	落第者	落第歩合	總平均點
福井中學校	539	54	1.00	72	560	50	1.00	70
大野中學校	236	17	7.2	73	256	24	9.4	74
武生中學校	366	41	1.10	72	359	43	1.20	71
小濱中學校	285	13	5.8	73	246	16	6.5	75
私立北陸中學校	195	24	1.23	69	216	21	9.7	72
計	1,571	149	9.5	72	1,637	160	9.8	72

生徒修學旅行ノ狀況

福井中學校 第四、五年生ハ五月九日發大坂神戸奈良大津方面ニ旅行シ十四日歸校シ第三學年ハ五月九日發大津奈良方面ニ旅行シ十二日歸校ス第一學年及第二學年ノ生徒ハ五月十日金澤ニ旅行シ即日歸校セリ

大野中學校 第四、五學年ノ生徒ハ五月十六日發大津京都方面ニ旅行シ二十一日歸校シ第三學年以下ノ生徒ハ五月二十日學校ヨリ二三里ノ地方ニ遠足運動ヲ爲シ即日歸校セリ

武生中學校 第四、五學年ハ五月十六日發大津京都奈良方面ニ旅行シ二十一日歸校シ第三學年以下ハ五月十九日敦賀ニ旅行シ即日歸校セリ

小濱中學校 第三學年以上ノ生徒ハ大坂京都大津方面ニ第二學年ハ宮津舞鶴地方ニ旅行シ一ノ名勝舊蹟地ヲ歴訪シ一ノ軍港軍艦要塞及天橋ノ勝景等ヲ巡覽セリ

私立北陸中學校 第二學年以上ノ生徒ハ四月十三日發京都大津石山等ニ旅行シ十七日歸校セリ

入學志願者ニ關スル狀況 縣立四箇中學校ハ例ノ通共通募集ヲ爲シ第一希望ノ學校滿員ノトキハ第二希望ノ學校ニ入學セシムルノ方法ヲ採リタリ入學志願者ハ福井中學校三百二十六人大野中學校八十二人武生中學校二百八人小濱中學校六十人ニシテ交通便利ナル福井武生ハ從來ノ如ク志願者多ク大野小濱ノ如キ交通不便ノ學校ハ依然トシテ志願者甚少ナシ又私立北陸中學校ハ開校日尙淺キモ福井市中ニ設置セラル、カ故ニ志願者百七十三人ニ達シタリ

入學者父兄ノ職業別 入學者五百七十七人ノ父兄ノ職業ハ農業百八十九人工業三十六人商業六十七人庶業百九十二人無職三十三人ナリ今之ヲ細別スレハ左ノ如シ

	農業	工業	商業	庶業	無職	計	
福井中學校	第一學年	47	17	18	44	24	150
	第二學年	—	—	—	—	1	1
	第三學年	—	1	—	2	—	3
	第四學年	—	—	1	1	—	2
	計	47	18	19	47	25	156
大野中學校	第一學年	32	6	12	31	—	81
	第二學年	—	—	—	—	1	1
	第三學年	1	—	—	—	—	1
	第四學年	—	—	1	2	—	3
	計	33	6	13	33	1	86
武生中學校	第一學年	44	7	14	22	2	89
	第二學年	1	—	—	1	—	2
	第三學年	1	—	—	—	—	1
	第四學年	1	—	—	1	—	2
	計	47	7	14	24	2	94
小濱中學校	第一學年	27	1	10	13	—	51
	第二學年	1	—	—	2	—	3
	第三學年	1	—	1	1	1	4
	第四學年	1	—	—	1	—	2
	第五學年	1	—	—	—	—	1
計	31	1	11	17	1	61	
北陸中學校	第一學年	24	4	9	47	4	88
	第二學年	4	—	—	8	—	12
	第三學年	2	—	1	10	—	13
	第四學年	1	—	—	3	—	4
	第五學年	—	—	—	3	—	3
計	31	4	10	71	4	120	
總計	189	36	67	192	33	517	

本表福井武生ノ第一學年庶業ノ内一人ツツノ轉入學者ヲ計入シアリ

補習科ニ關スル狀況 初メ福井中學校ニ十二人大野中學校七人武生中學校十一人小濱中學校三人ノ補習生アリシモ高等ノ學校ニ入學スル爲メ若ハ都合ニ依リ中途退學シタリ

福井高等女學校

學校ノ設備 本年度ニ於テ音楽教室ヲ増築シタルノミニシテ前年申報セシ所ト大差ナシ校具圖書標本等ハ漸次購入シ教授上管理上支障ナシ

有資格教員免許狀ヲ得タル事由 有資格教員ハ男六人女七人

ニシテ其ノ免許狀ヲ得タル事	由次ノ如シ
東京高等師範學校卒業	2 東京女子高等師範學校卒業
神宮皇學館卒業	1 東京音樂學校卒業
東京美術學校卒業	1
日本體育會体操學校卒業	1
檢定試驗	1
以上男子六人	以上女子七人

生徒訓育ノ狀況 智徳ヲ増進シ堅實穩健ナル思想ヲ涵養シ中流以上ノ女子タル資質ヲ備ヘシメンコトヲ期シ前年申報セシカ如ク從來ノ施設ヲ繼續シ居レリ

生徒學業ノ進否 生徒學業ノ進否ノ教師ノ能不能ニ基ク者多キニ因リ及フヘクダメ優異ナル教師ヲ採用スル事ニ努メ且教授法ノ研究教材教具ノ改良等ニ留意スル所少ナカラス隨テ生徒ノ學力モ漸チ以テ進歩セリ生徒得點通約平均本科生ハ前年七點六七ナリシニ本年八點七藝科ハ兩年共七點ナリ入學者父兄ノ職業別 本科第一學年入學者百六人ノ父兄ノ職業ハ農業十八人工業十四人商業三十六人庶業三十三人無職三人ナリ又實科入學者四十人ノ父兄ノ職業ハ農業三十人工業四人商業八人庶業三人無職三人ナリ本科第二學年入學者八人ノ父兄ノ職業ハ農業二人庶業六人第三學年入學者七人ノ父兄ノ職業ハ商業二人庶業五人ナリ

補習科ニ關スル狀況 本科補習科生ハ十人アリシカ總テ卒業シ内一人ハ東京女子高等師範學校ニ二人ハ奈良女子師範學校ニ入學セリ實科補習科生ハ八人アリシカ七月中總テ修了シ内五人ハ小學校裁縫專科免許狀ヲ受得シタリ

實業學校

福井農林學校

學校ノ設備 校舍及附屬建物校地實習地等前年申報ノ如シ器械圖書標本ハ多少購入補充シタルモノアリ

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任十二人兼任二人ニシテ其ノ資格別左ツ如シ

- 學士ト稱スルコトヲ得ル者 專任二人兼任一人
- 文部大臣ノ指定シタルモノ 專任六人兼任一人
- 文部大臣ノ認可シタルモノ 專任四人

生徒訓育ニ關スル狀況 生徒必携簿ヲ設ケ勸語詔語ヲ初メ其ノ他禮儀作法等ノ事ヲ掲ゲ學級主任校外監督級長副級長等ヲ置キテ規律ヲ嚴メシ舍長週番炊事係ヲ置キテ自活ノ精神ヲ養成セシメ又補助機關トシテ農友會級會ヲ設ケ共同販賣部ヲ置キテ日用品ヲ販賣セシメル等總テ前年申報ノ如シ

生徒學業ノ進歩 第三、四ノ兩學年ハ落第者ナク第二學年ハ總員五十人中六人第一學年ハ總員五十七人中四人ノ落第者ヲ出シ前年ニ比シ百分比列ニ於テハ異ナラス又全生徒平均點ハ前年七十九點本年七十三點ナリ

生徒ノ實習及修學旅行ニ關スル狀況 各學年生徒實習ノ科目ハ前年ニ異ナラス毎週水、土兩日ヲ除キ午後學科ノ授業ヲ了リタル後二時間ツ、實習ヲ課シタルニ二三ノ生徒ハ之ヲ怠ルノ傾向ナキニアラサリシモ多數ハ熱心之ニ從事シ殊ニ

第二學年以上ハ各自擔當試作地ヲ有スルニ因リ大ニ實習ニ趣味ヲ有シ進テ就業スルノ狀況ナリ而シテ第四學年全生徒ハ十月十六日ヨリ二十五日ニ至ル十日間奈良及四國地方ニ修學旅行ヲ爲シ又第四學年第二部(林業)生ハ十一月十六日ヨリ二十一日ニ至ル六日間吉田郡志比谷村志比(學校ヨリ四里)ニ到リテ植樹ノ業ニ服シ第四學年第一部(農業)生及第三學年生第二學年生ハ六月六日七日ノ兩日石川種島所附近ニ修學旅行ヲ爲シ第一學年生ハ六月六日七日ノ兩日間坂井郡三國町附近ニ旅行ヲ爲シタリ

本校修學旅行ノ目的ハ農事試驗場農學校其ノ他農林業ニ關スル調査見學ヲ第一トシ第二ノ目的トシテハ名所古跡等ヲ見學セシメタルニ在リテ平素室内教授ニ於テ容易ニ會得シ能ハサリシ事項ヲ實地目撃セシメ確實ニ知得セシムル等ノ果敢ナカラス

學校ト實業界トノ關係 前年申報セシ所ニ異ナラス

小濱水產學校

學校ノ設備 校地校舍等前年ニ異ナラス本年度新ニ設備シタル器械ノ重タルモノハ漁業練習船ニシテ明治四十四年三月下旬ヨリ六月ニ至リテ之ヲ製作シ全二日進水式ヲ行ヒ永平丸ト命名セリ

本船ハ補助機關ノ練習ハ固ヨリ沖合漁業ノ實習ヲ課スル目的ヲ以テ建造セシモノナリ從來和洋折衷ノ改良漁船ヲ以テ實習ニ供セシモ近時漁業界ノ進運ニ伴ヒ卒業生就職ノ狀況ニ鑑ミ本船ヲ設備スルニ至レリ

教員ノ資格別 有資格ノ教員專任六人兼任二人ニシテ其ノ資格次ノ如シ

- 文部大臣ノ指定シタル者 專任五人兼任一人
- 文部大臣ノ認可シタル者 專任一人兼任一人

生徒訓育ノ狀況 職員全體ハ訓育ノ任ニ當リ而シテ學校長ノ講話家庭ノ訪問寄宿舎ノ取締等總テ前年ニ同シ

生徒學業ノ進否 開校以來ノ卒業生ハ二百三十五人ヲ算ス而シテ卒業生ハ特別ノ事情アリモノ若干名ヲ除クノ外ハ殆ト徒食スル者ナク北ハ樺太沿海州南ハ小笠原島西ハ南滿州朝鮮或ハ遠ク北米合衆國加奈太等ニ勇躍スル者アルヲ見ル殊ニ最近長足ノ發展ヲ爲セル汽船トロール漁業遠洋漁業等ニ從事スルモノ年々増加シ就中トロール漁従事者ハ昨年中其ノ根據地タル下關ニ青戶俱樂部ナルモノヲ組織スルニ至リ又卒業生ニシテトロール漁業ニ從事スルモノノ先進者ハ流撈長ノ位置ヲ占メタル者數名及船長タルノ試驗ヲ受ケシ者二名自ラ資本主ヲ求メテ漁業ヲ經營スル者一名又或漁業會社ヨリ特ニ實地研究ノ爲メ歐米各國ニ派遣セラレタル者一名アリ此ノ如ク卒業者就職ノ狀況年一年ニ良好ナルヲ以テ一般在學生ノ學業モ進歩ノ傾アリ全生徒ノ平均點數ハ前年及本年何レモ七十三點ナリ

生徒實習及修學旅行ニ關スル狀況 沿海漁業實習トシテハ六月一日ヨリ六十日間若丹沿岸ニ於テ各種延繩漁業並諸市著網漁業ノ練習ヲ爲サシメ又遠洋漁業トシテハ新造船永平丸

ニ乗組マシメ運用航海ノ練習ヲ兼テ佐渡近海迄航行シテ北陸地方ニ於ケル漁業調査ヲ爲サシメタリ又製造實習トシテハ校内ニ於テ隨時原料ノ供給ヲ得テ各種水産物製造ヲ授ケルコト數十回又本縣重要水産物タル蟹鰯其他ノ製造法ニ就テハ特ニ十一月十日ヨリ二十日間丹生部四箇浦村假實習場ニ出張セシメ蟹鰯詰及蒲鋒製造法等ヲ練習セシメタリ又養殖實習トシテ鯉鱈ノ産卵發生順序飼養法稻田養鯉法等ヲ授ケシコト前年ニ同シ

修學旅行トシテハ七月十日ヨリ二十日間滋賀愛知靜岡大阪ノ一府三縣ニ於ケル水産試驗場製造場各種水産物製造場冷蔵會社及海産貿易商店等ヲ視察セシメ鯉鰯鰻鱺等ノ製造法ヲ見學セシメ尙罐詰其ノ他各種水産物ノ販路貿易ノ狀況並冷蔵法等ニ就キ調査セシメタリ

學校ト實業界トノ關係 前年申報ノ如シ

福井商業學校

學校ノ設備 校地校舍等前年ニ異ナラス圖書器械標本等ノ漸次購入ス

教員ノ資格別 有資格教員專任五人兼任四人ニシテモ何レモ文部大臣ノ指定シタル者ナリ

生徒訓育ノ狀況 前年ニ全シ

生徒學業ノ進否 生徒ノ學業ハ稍々進歩ノ狀況ヲ呈セリ生徒得點通約平均ハ明治四十三年度ハ豫科七十一點三分本科十七點四分ニシテ明治四十四年度ニ於テハ豫科七十一點五十分本科七十二點五分ニ上レリ

生徒實習及修學旅行ニ關スル狀況 實習ハ前年申報ノ如ク内國商業ニ就テノ模擬商業ヲ校舍内ニ於テ行フニ過キス修學旅行トシテハ本年度關西地方ニ赴カシメ商業ノ實際ヲ見學セシメ兼テ地理交通運輸等ニ關スル智識ノ修得ニ資シタル所アリ

學校ト實業界トノ關係 學校ト實業界トク聯絡ヲ圖ルニカメ居ルヲ以テ漸次一般實業界ニ於テモ商業教育ノ必要ヲ認ムルニ至リタルカ如シ

敦賀町立商業學校

學校ノ設備 校地校舍トモ前年ニ異ナラス圖書器械標本等モ漸次購求シタルヲ以テ略ホ整頓セリ

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任七人兼任一人ニシテ何レモ文部大臣ノ指定シタル者ニ係レリ

生徒訓育ノ狀況 校友會ノ各部ヲシテ活動セシメ以テ德育體育ニ資シ尙職員輪番ニ町内ヲ巡視シ且ツ學級主任ハ家庭ヲ訪問シ衛生上風紀上ニ就キ視察監督等ヲ爲シ居レリ

生徒學業ノ進否 時々教授者ノ協議會ヲ開キテ教授方法ヲ研究シ其ノ統一ヲ圖リ且ツ劣等生ニ對シテハ特別ノ教授ヲ爲シカメテ落伍者ナカラシメンコトニ留意シ又隨時新刊ノ圖書並新教員等ヲ購入シテ教授者ノ參考ニ資ス斯ノ如クニシテ各教員熱心教授ニ從事スルヲ以テ生徒ノ學業増進セリ然レトモ本年ニ於テ生徒百五十九人中三十一人ノ落第者ヲ出

シタルハ試驗ヲシテ最モ公正ナラシムル上ニ於テ免ル能ハサリシ所ナリ

生徒實習修學旅行及學校ト實業界トノ關係 生徒實習ハ前年ニ同シ修學旅行ハ横濱及京阪地方ヘ引率シ商業實習の見聞ヲ爲サシメタルコト一回ナリ其ノ他有名ナル實業家來敦ノ機ヲ利用シ之ヲ招待シテ一場ノ講話ヲ請ヒ或ハ銀行家商業家ニ依頼シ數次授業參觀ノ上批評ヲ仰キ以テ商業實踐ノ參考ニ資シ或ハ隨時銀行等ニ生徒ヲ引率シテ買務ヲ見學セシムル等學校ト實業界トノ聯絡ヲ保テリ

坂井郡立女子實業學校

學校ノ設備 前年ニ異ナラス

教員ノ資格別 有資格教員ハ男二人女三人ニシテ何レモ文部大臣ノ指定シタル者ニ係レリ

生徒訓育ノ狀況 質素ヲ尊ヒ勤勞ヲ勵ムノ習慣ヲ得セシメン爲メ洗濯色揚等ノ實習ヲ課シ將ニ廢レントスル物ヲシテ有用ノ物ヲラシムル事等ヲ指導シ中産者ノ家庭ヲ預カルヘキ賢母良妻ヲ養成スルノ目的ヲ以テ訓育ヲ爲シ居レリ

生徒學業ノ進否 裁縫刺繡造花編物等實科ニ屬スルモノハ成績良好ナリ又學校ニ於テモ圖書書方ハ著シク進歩セルヲ認ム今總生徒得點通約平均ヲ見ルニ明治四十三年度ハ七十二點ニシテ明治四十四年度ハ七十六點ナリ

生徒實習及修學旅行ニ關スル狀況 生徒實習ノ狀況ハ何レモ熱心ニシテ時間ノ足ラサルヲ憾ミ終業時後一時三十分間位居残りテ作業ニ從事ス

修學旅行トシテハ福井市ニ開催ノ第二回本縣重要物産共進會及教育品展覽會ヲ巡覽セシメタリ右ハ裁縫手藝圖書等ノ成績ヲ良好ナラシムルニ裨益スル所アリシヲ認メタリ

學校ト實業界トノ關係 裁縫ニ關シ吳服店トノ聯絡ヲ圖リ材料ノ供給工賃ノ收得等ニ就キ計畫シタル所アルモ未タ充分ノ効果ヲ得難ク又造花刺繡編物等ニ就テモ何等實業界トノ關係ナラズシテ兩者密接ナル能ハス

大野郡立實業女學校

學校ノ設備 本校ハ明治四十三年度中設立シタルモノニシテ本年度ヲ以テ初メテ開校セル所ナリ校舍ハ本校舎ト寄宿舎ノ二棟ニ分カレ本校ニハ教室六箇外ニ校長室事務室等アリ教授上差支ナシ寄宿舎ハ舍室三箇舍監室廁所浴室化粧室等ノ設クアリ現今管理上ニ於テモ何等ノ支障ナカリシモ生徒増加ノ傾向アルヲ以テ之ニ應セン爲メノ準備ヲ兼テ養蠶室階上ニ二室ヲ増築スルノ計畫ヲ爲シ既ニ郡會ノ決議ヲ經タルヲ以テ翌年度ニ於テ工事ヲ行フヘク又講堂運動場ヲ缺クヲ以テ是亦翌年度ニ増築ノ見込ナリ是等竣功ノ曉ニハ小規模ノ設備稍整備スルニ至ルヘシ内部ノ設備及圖書器械標本等ハ漸次整頓ノ見込ナリ

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任二人兼任男三人ニシテ何レモ文部大臣ノ指定ニ係ル者ナリ

生徒訓育ノ狀況 他ノ學校ト同シク勸語及詔書ノ御趣意ヲ奉

體シ其ノ實ヲ學ケンコトヲ努メ或ハ校訓ニ依リ或ハ心得ヲ定メ毎月定期臨時ニ訓話シ或ハ偶發ノ事項ヲ利用シテ勤儉ノ節義ノ德操ヲ涵養シ時間ヲ正確ニ守リ規律ヲ嚴ニシ勤勞ノ習慣ヲ養フハ爲メニ草取掃除ニ從事セシメ或ハ時報板ヲ設ケテ社會ニ起リタル著大ノ時事ヲ揭示シテ之ヲ知ラシムル等專ラ智育德育ノ養成ニカメリ

生徒學業ノ進否 學科實科ニ分チテ教授スルニ學科ノ時間ハ多カラサルモ漸次進歩ノ實績ヲ認ムルヲ得又裁縫ハ著々其ノ歩ヲ進メツ、アリ而シテ全生徒得點通約平均八點ナリ
 生徒實習及修學旅行ニ關スル狀況 翌年度ヨリハ養蠶ノ實習ヲ爲スノ計畫ナルモ本年ハ之ヲ行ハス唯裁縫等ヲ爲サシメタルニ止メ修學旅行ハ未タ之ヲ行ハス春秋二回遠足運動シテ近郊ヘ引率セシジミナリ

學校ト實業界トノ關係 創立以來日淺キヲ以テ未タ何等密接ノ關係ヲ存セサルモ生徒ハ漸次増加ノ兆アリ是レ地方ノ父兄カ女子實業上ノ必要ヲ倍々感シタルニ由ルナラン

武生町立武生女子實業學校

學校ノ設備 校舍及圖書器械標本類トモ漸次整頓シツツアリ教授上管理上支障ナシ

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任男一人女一人兼任男三人ニシテ何レモ文部大臣ノ指定シタル者ニ係レリ

生徒訓育ニ關スル狀況 實業勤勞及德義ヲ重セシムルコトニ注意シ校ノ内外ヲ問ハスカハ涵養ニ努ムルトトモニ夫々監督ヲ怠ラサルコト前年ニ同シ

生徒學業ノ進否 生徒ノ學業ハ漸次進歩ノ方ニ見ユルモ其ノ得點通約平均ハ明治四十三年度及明治四十四年度何レモ八點ナリ

生徒實習及修學旅行ニ關スル狀況 裁縫刺繡等ノ實習ニ重キヲ置クモ特ニ記スヘキモノナク又修學旅行ハ未タ之ヲ行ヒタルコトナシ

學校ト實業界トノ關係 學校ニ於テハ成ルヘク實地ニ適セシムルコトニ注意シテ授業シツ、アルヲ以テ一般ニ漸次學校教育ノ必要ヲ感スルモノノ如ク生徒數ハ前年ニ比シテ凡ソ二割ヲ増加セリ

遠敷郡立小濱女子技藝學校

學校ノ設備 前年度ニ於テ從來ノ町村學校組合立ヲ改メテ郡立ト爲シ爾來設備漸ク整頓ヲ告ケ管理上教授上支障アルヲ見ス

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任男二人女二人兼任男一人ニシテ何レモ文部大臣ノ指定ニ係ル者ナリ

生徒訓育ノ狀況 技能ノ練習ト共ニ勞働精神ノ激勵及婦德ノ涵養ニハ特別ノ注意ヲ爲シ浮華輕佻ノ弊ヲ生セサラシメシコトヲ努メ其通學スル能ハサル者ノ爲ニハ寄宿舎ヲ設ケ生活狀態ヲシテ專ラ家庭ノタラシメ適當ノ訓練ヲ爲シ居レリ

生徒學業ノ進否 生徒得點通約平均ハ明治四十三年度ハ七十八點ナリシニ明治四十四年度ハ八十點トナレリ

生徒實習及修學旅行ニ關スル狀況 重キヲ實習ニ置キ各生徒ヲシテ裁縫染織等ノ實地練習ヲ爲サシメ修學旅行ハ未タ之ヲ行ハス

學校ト實業界トノ關係 學校ニ於テハ毎年二回生徒製作品展覽會ヲ舉行シ同時ニ之カ販賣ヲ爲シテ其ノ批評ヲ求メハ以テ教授上ノ改善ニ資シハ以テ學校事業ノ普及ニカメリ

實業補習學校

實業補習學校ハ工業二、農業百六十二(外ニ分教場三)水産十一商業五其ノ他十九(商船ナシ)計二百(分教場ヲ包含ス)ニシテ何レモ小學校又ハ他ノ學校ニ附設スルモノナルヲ以テ設備上ニ於テ支障ナク又教員ノ概ネ小學校本科正教員之ヲ兼任セリ而シテ農閑ノ時期ヲ利用シ若ハ夜間教授ヲ爲スモノ多シ其學業ハ漸次成績佳良ナリ生徒實習用地トシテハ別ニ之ヲ設ケタル學校ナシト雖モ青年會青年團等ノ事業トシテ蔬菜園果樹園其ノ他試作地ヲ設クルモノ尠ナカラサルニ由リ實業上ノ智識ヲ得シタル後應用的實習ヲ爲シ得ヘク且ツ生徒ハ何レモ實業家ノ子弟ナルヲ以テ直ニ之ヲ實際ニ試ムルコト容易ナリ修學旅行ハ一般之ヲ行ハサルモ中ニハ他村他郡ノ耕地整理又ハ農事試驗場試作地等ノ視察旅行ヲ爲スモノ往々之レアルヲ見ルスクノ如ク補習教育ノ自ラ實業教育ニ多少ノ裨益ヲ與フルヲ以テ實業界ニ於テモ漸ク其ノ必要ヲ感スルニ至リ兩者ノ關係稍々密接ナルノ狀況ナリ

各種學校

小學校ニ類スル各種學校 市立一町村立七私立一計九ニシテ前年ニ比シ増減ナシ是等ノ各種學校ハ多ク小學校内ニ設クルカ故ニ設備上遺憾ナク教員亦概ネ小學校教員之ヲ兼務セリ學校維持ノ方法ハ授業料寄宿金等ノ收入モ多少之レナキニアラサルモ概シテ市町村費ヲ以テ支辨ス學科ハ裁縫ヲ主トスルモ多ク修身國語算術唱歌等ヲ加ヘ毎日四時間乃至五時間授業セリ

私立北陸專修學院 本院ハ私立北陸中學校生徒中ノ志望ニ依リ佛教ヲ授クル所ニシテ北陸中學校内ニ設クルヲ以テ設備上支障ナシ學校維持ノ方法ハ本派本願寺ヨリ其ノ經費ヲ支辨シ別ニ授業料ヲ徵收セス北陸中學校授業時間ノ前後ヲ以テ每週二時間眞宗ノ教義每週一時間天台眞言其ノ他ノ教義ヲ教授ス

學校衛生

學校清潔方法施行ノ狀況 師範學校 日常清潔法等ハ前年ト異ナルコトナク夏季中ニハ特ニ注意シ秋季ハラチアスノ發生シタルトキハ寄宿舎全部ニフオルマリ消毒ヲ爲シ病源ノ撲滅ニカメ且ツ他ヨリノ侵入ニ注意シ生徒ノ校外ニ於ケル飲食ニ對シ自衛セシムル所アリタリ
 中學校 毎日放課後教室ヲ掃除シ每學期或ハ春秋二回若ハ夏冬二回大掃除ヲ行ヒ或ハ藥物消毒ヲ行フコトアリ

高等女學校 校地ハ舊城壕ニ接續セルヲ以テ濕潤ヲ免レサ
ルニ依リ専ラ乾燥セシムルコトニカメ其ノ他毎日ノ掃除及
定期臨時ノ清潔方法ヲ施行セシコト前年ニ異ナラス
實業學校 福北農林學校小濱水産學校其ノ他實業學校ニ於
テハ毎日掃除ノ外或ハ毎週一回若ハ毎箇年數回ノ清潔方法
ヲ行ヒ惡疫發生ノ豫防ニカムルコト前年ニ同シ
小學校 日常及臨時定期ノ清潔方法ヲ行フヲ以テ校舎内外
トモ概シテ不潔ナラス各種學校ニ於テモ亦同シ

學校醫視察ノ狀況

師範學校 前年ト異ナルコトナシ但シ秋季ニ於テ男四名女
一名ノパラチフス患者ヲ出シタル爲メ全生徒ノ健康診斷ヲ
行ヒ疑ハシキ者ハ直ニ之ヲ隔離シ入院治療セシメシカ短キ
ハ二週間長キモ二箇月ニシテ全瘥退院後歸校セリ尤男一名
ハ遂ニ死亡シ又男女各一名ハ休學ノ止ムナキニ至レリ

中學校、高等女學校、實業學校ニ於テハ定期身體檢查ヲ
爲スノ外毎月二回又ハ年二三回學校ヲ視察シ諸般衛生狀態
ニ就キ注意ヲ爲シ又時トシテハ衛生講話ヲ爲シタリ

小學校各種學校ニ在リテハ學校醫ノ視察回数數回ニ上ルモノ
ナキニアラサルモ多クハ身體檢查ヲ行フノ外視察スルコト
ナキ狀況ナリ

學校醫ノ資格別 學校醫ハ百十三人ニシテ其ノ資格左ノ如シ

帝國大學醫科大學卒業	4人
元東京大學醫學部醫學科科卒業	2
官立醫學專門學校醫學科元高等學校及 高等中學校醫學部醫學科卒業	39
府縣醫學學校卒業	15
東京帝國大學醫科大學國家醫學講習科 修了	6

醫術開校試驗及第 47内女1
生徒又ハ兒童健康ノ狀況

師範學校 前年ト異ナル所ナシ但シ本年度ニ於テ三名ノ死
亡者ヲ出シタルハ遺憾ニ堪ヘサル所ナリ

中學校 多少ノ疾病患者ヲ出シタルモ概シテ健康ト認ムヘ
キナリ

高等女學校 衛生狀態ハ別ニ變化ナク是亦健康ヲ保テリ
實業學校 實習ニ従事スル爲メ他ノ運動ト相俟チテ自ラ身
體ノ健康ヲ保ツヲ得比較的強壯ナリ

小學校 兒童中ニハトラホーム患者ニ福ル者尠ナカラサル
ハ遺憾ナリ其ノ他疾病ニ罹ル者アルモ憂フヘキモツアラス
傳染病豫防及消毒ニ關スル施行ノ狀況

師範學校 個人衛生ニ就キテハ略ホ前年度ト異ナル所ナキ
モ本年パラチフス患者發生シ漸次蔓延シ兆アルヲ以テ極力
消毒ヲ勵行シタルニ由リ幸ニ數名ノ患者ヲ出セシヨニテ
遂ニ撲滅スルコトヲ得タリ其消毒方法トシテハ強度ノ石炭
酸及フホルミリチ患者ノ居室及附近全般ニ撒布セリ

中學校 各校トモ學校傳染病豫防及消毒方法ニ依リ夫々施
行シ常ニ校舎内外ノ清潔ニ注意スルハ勿論惡疫流行ノ際病
毒地ヨリ通學スル生徒ノ有無ヲ調査シ時宜ニ依リテハ昇校

ヲ停止シ或ハ健康診斷ヲ行ヒ豫防ニ注意スルト同時ニ衛生
講話ヲ爲シ諸病未發ニ防カシコトニカメタリ尤モ福井中學
校寄宿舎ニ於テハ腸炎扶斯患者發生シタルヲ以テ直ニ福井
病院ニ入院セシメ患者ノ居室ニ大消毒ヲ施シテ病毒ノ感染
ヲ防キ而テ患者ハ在院二箇月ニシテ全瘥セリ
其他高等女學校實業學校小學校各種學校等ニ於テモ夫々傳染
病豫防方法ヲ行ヒ且ツ學校ニ於テハ傳染病ニ罹リタル者ナ
シ

學校園學林及樹栽

師範學校ニ於テハ學校園千九百十六坪ヲ有シ之ヲ男子部庭園
ト女子部庭園トニ分チ其ノ男子部ヲ有終園ト名ツケ女子部ヲ
濟樂園ト稱シ各園更ニ之ヲ數部ニ區別シテ賞玩實用博物科其
ノ他ノ材料ヲ栽植ス

本年度ニ於テハ大ニ區畫ヲ整理シ培養植物ノ數ヲ増加シタリ
學林及樹栽ハ本縣模範林地ヲ無代使用スルモノ六町九段一畝
二十八歩ニシテ例年ノ如ク春秋二回植栽地ノ下草刈チ行ヒ晚
秋植苗七百本春季植苗六百本ヲ新植セシカ冬期降雪少カリシ
ヲ以テ殆ト雪害ヲ被ラス其ノ成績良好ナリ

中學校ニ於テモ何レモ學校園ヲ設ケ觀賞教材ノ二種ノ植物ヲ
培養セルコト前年ニ同シ

其ノ他小學校等ニ於テモ學校園ヲ設置スルモノ漸次其ノ數ヲ
増シタル然レトモ多クハ當該學校内ノ一部ヲ割シテ設ケタレ
モノニシテ敷地以外ニ於テ設置シタルモノハ五十校内外ナリ
學林ハ山間部ニ於ケル學校ニハ概ネ之ヲ設ケアリ而シテ兒童
ヲシテ樹栽斫手入等ヲ爲サシメタリ

教員檢定及免許狀授與

小學校教員無試驗檢定ハ隨時之ヲ施行シ試驗檢定ハ定期八月
中福井市及小濱町ニ於テ之ヲ行ヒ臨時七月中福井高等女學校
ニ於テ三月中南條郡武生町及今立郡粟田部村ニ於テ之ヲ行ヒ
タリ檢定人員ハ男二百六十一人女二百七十二人計五百三十三
人ニシテ内合格者男五十四人女八十五人計百三十九人ナリ
免許狀ヲ授與シタル者ハ前項合格者及師範學校卒業ニ係ル者
男七十五人女六十人ヲ併セ男百二十九人女百四十五人計二百
七十四人ニ上レリ

教員講習

教員講習ハ小學校教員ニ關スル者ノミニシテ郡市教育會等ニ
於テ開催シタルモノ延日數九十日講習人員二千六百六十九人
ニ上リ其ノ講習科目ハ自治民育修身音樂遊戲算術理科唱歌地
理歷史教育博物等ナリ又本縣ノ事業トシテハ師範學校ノ部ニ
記述シタルカ如ク小學校本科正教員學力補習講習會ヲ開キ又
文部省ヨリ講師川上瀧男ヲ聘シ小學校本科正教員ノ爲メニ算
術理科講習會ヲ開キタリ會期十日間人員五十人ナリ

教科用圖書

小學校教科用圖書ハ何レモ適當ニシテ其ノ供給十分ナリ但シ
新ニ改定セラレタルモノハ一時供給不足ヲ告ケ又徒弟學校及

實業補習學校等ノ教科用圖書ノ購求上多少ノ困難ヲ免レザリシ現狀ナリ

圖書館

圖書館ノ郡立一、私立一ヲ増シ現在十三箇所下ナレリ内一箇所ハ市立ニシテ職員三人ヲ置キ專ラ圖書ノ整理閱覽等ノ庶務ニ従事シ設備モ亦整頓シ閱覽人員八百九十八人ニ上レリ其ノ内新聞雜誌三千九百二十九人、文學書千八百七十八、史學九百四十六人宗教哲學六百十人、法制經濟四百六十三人、地理四百四十二人美術遊技二百九十一人理化百四十三人實用藝術(農商工)百八十八人語學文典十七人醫書辭書其ノ他雜書六百八十二人ナリ其ノ他ノ圖書館ニ至リテハ規模甚小ニシテ設備充分ナラス閱覽人員亦多カラス或ハ巡回文庫ヲ廻送スルモノアリ各圖書館ヲ通テ閱覽ノ書籍ハ文學歷史理科等ニ屬スルモノ多ク其ノ他ノ圖書甚少ナリ尙未タ圖書館令ニ依ラスヘテ設置シタル圖書閱覽所ハ各郡ニ數箇所アリ

教育品展覽會

福井市ニ於テハ第二回福井縣重要物産共進會開會ノ間ニ於テ即チ七月十五日ヨリ同二十一日ニ至ル七日間第二回福井市教育品展覽會ヲ開催シタル陳列品ノ種類ハ學校教育(幼稚園小學校、中等學校、實業學校)並家庭、社會及特殊教育ニ關スル成績品、意匠考案品及參考品ニシテ其ツ出品五千三百九十點ニ達シ又観覽人四萬五千二百人一日平均六千四百五十八ニ上リ教育當事者ノ研讀ニ資シ併テ一般公衆ノ教育思想ヲ鼓舞獎勵シタルコト蓋シ尠カラザリシヲ信ス又今立郡ニ於テハ郡家品評會開會ヲ機トシ五月中三日間栗田部村ニ於テ教育品展覽會ヲ開催セリ其ノ他各郡ニ於テ小規模ノ展覽會ヲ開キタルコト尠ナカラサルモ記述スルニ足ルモノナリシ

教育會

各郡市ニ私立各郡市教育會ヲ設ク其ノ數十二ニシテ會員一萬人内外アリ私立福井縣教育會ハ郡市教育會ノ聯合組織ニシテ別ニ會員ヲ有セス又町村ニハ私立町村教育會ノ設ケアルモノ少ナカラス而シテ縣郡市町村教育會ノ事業トシテハ教育ニ關スル研究調査小學校教員ノ講習教育學術ニ關スル講話學齡兒童ノ保護、圖書館ノ經營學事視察其ノ他學事獎勵等其ノ成績ノ見ルヘキモノ多シ

青年團體

青年會夜學會等青年團體ノ組織ハ縣下各町村ニ之アリ而シテ一町村内各部ニ分レタルモノ多クハ之ヲ統一スル爲メ一町村青年團體ニ各町村青年團體、更ニ一郡市青年團體ニ聯合組織ト爲シ恰モ郡市教育會ノ縣教育會トニ於ケルカ如クニ爲シタリ此等青年團體ハ概テ農閑ノ時季ヲ以テ補習教育ヲ受ケ或ハ講演會ヲ開キ各自ノ修養ヲ爲シ又實業的方面及公共的方面ニ於テモ諸般ノ事業ヲ爲シツ、アリ而シテ七月十五日福井市ニ於テ縣下ノ青年大會ヲ開キ名士數名ヲ招聘シテ大講演會ヲ開キ青年ノ實行スヘキ訓誡ヲ示シタリ同會出席者ハ縣下各青年會代表者千五百餘名ニ上リタリ

縣會郡會及市町村會

明治四十五年度教育費ハ縣ニ在リテハ經常費金拾七萬八千七百八拾圓臨時費金參萬七千九百參拾八圓ヲ決議シタリ即チ提出ノ議案ニ對シテハ幾分ノ削減ヲ爲シタルモ教授上管理上甚シキ支障ナク又郡市町村ニ在リテモ年々教育費ノ増加ノ傾向ナルモ不當ノ削減ヲ爲サス概シテ平穩ト謂フヘキナリ

學事關係職員及學事視察

本縣學事關係職員ハ内務部長(事務官)第三課長(事務官)各一人屬三人視學二人雇二人シテ各部役所ニハ郡視學一人宛アリ多クハ第三課長(教育事務)ヲ兼ネ其ノ課員ニハ郡書記又ハ雇員ノ内一人若ハ二人ヲ以テ之ニ充テ市役所ニハ市書記一人書記補一人町村役場ニハ書記一人若ハ二人ヲ以テ學事事務ヲ處理セシメ尙市町村ニ於テハ學務委員及區長ヲシテ事務ヲ補助セシムルコト前年ニ異ナラス

内務部長及第三課長ハ特ニ學校ヲ視察シ或ハ他ノ公務ノ傍ラ數回ノ視察ヲ爲シ又時トシテハ郡市教育會等ニ列席シ教育ノ發達指導ニ勉ムル所アリタリ

縣視學ノ縣下巡視日數ハ總テ百五十七日ニ上リ各郡ニ在リテハ郡長ハ特ニ小學校ヲ巡視シ或ハ町村巡視ノ際併セテ小學校ノ視察ヲ爲シ郡視學ハ通常毎校二回以上ノ視察ヲ爲シ以テ力ヲ監督指導ニ盡シ實績ヲ擧グルニ勉メタリ

學事獎勵

師範學校ニ在リテハ小學校ニ關スル範圍ニ於テ問題ヲ與ヘ若ハ生徒任意ヲ以テ一種以上ノ研究ヲ爲サシメ其ノ報告ヲ徵シ又教授訓育ノ方法ヲ自得セシメ之ヲ爲半毎月一回研究録毎日ノ教育日誌ヲ作ラシムルコト先年來ノ如ク其ノ効果常ニ豫期ニ達スルヲ得タリ又生徒ノ成績ヲ個人別ニ告知シテ注意ヲ與ヘ或ハ學友ニ注意シテ豫習復習ヲ共ニセシメ或ハ寄宿舍同室上級生ヲシテ指導監督セシメ又精勤セシ者ニ賞狀ヲ附與シ尙年一回男女各學藝會ヲ開キ平業學習セシコトヲ發表セシメ成績優良ナル者ニ賞狀ヲ附與セリ

福井中學校ハ生徒ノ勤勉ヲ獎勵センカ爲メ一學年皆出席者ニ對シ生徒獎勵費及前田(元教員)獎學資金明新會寄附金ノ利子ヲ以テ賞與(品物)ヲ行ヒ大野中學校ハ學年ノ上下ヲ問ハス解答シ得ヘキ問題ヲ與ヘテ之カ答案ヲ提出セシメ學科ノ獎勵ニ資シ又成績優良ノ者ヲ賞與シ皆勤者ニ誘書ヲ授與シ武生中學校ハ成績優等及精勤者ノ賞與劣等生課外教育ヲ行ヒテ獎勵シ小濱中學校ハ成績優等賞與精勤者賞與寄宿舍室長勤勞賞與擊劍水泳優勝者賞與ヲ行ヒ又舊小濱藩主伯爵酒井忠道ヨリ獎學金交付ノ委囑ヲ受ケ舊領地内ニ本籍ヲ有スル生徒ニシテ成績優秀若ハ苦學奮勵他ノ模範トナルヘキ生徒ヲ選定シ第一學期ノ初ニ於テ十名ニ各金四圓第二學期ノ初ニ於テ十二名ニ各金四圓第三學期ノ初ニ於テ十五名ニ各金二圓ヲ授與シタリ福井高等女學校ニ於テハ操行學業共ニ善良ナル者ニハ卒業ノ際之ヲ賞與シ一學年間欠席セザル者ハ之ヲ表彰シテ獎勵ノ一端トセリ

實業學校ニ在リテハ福井農林學校ハ職員ヲ各郡ニ派遣シ農事
上ノ講話ヲ爲サシメ又生徒ノ製作品及生産品評會ヲ開キ生徒
ヲシテ審査セシメ之ヲ賞與シ又地方品評會等ニ生徒ノ試作ニ
係ルモノヲ參考品トシテ出品シ其ノ他演說討論會ヲ開キ或ハ
雜誌ヲ發刊スル等ノ事ヲ行ヒ學事獎勵ニ資スルコト前年ニ異
ナラス小濱水産學校ニ在リテハ水産教育普及ノ目的ヲ以テ大
飯郡本郷村遠敷郡内外海村三方郡北西郷村敦賀郡松原村丹生
郡越廼村ノ五箇所ニ於テ短期水産講習會ヲ開催シ各専門ノ教
師ヲ出張セシメ該地方ニ適切ナル漁撈製造及養殖ノ講習ヲ爲
セリ其ノ他成績優等ナル者ニ賞與ヲ行ヒ獎勵シタルコト各校
相同シ

小學校ニ在リテハ貧困ナル學齡兒童ヲ保護シテ就學セシムル
施設ヲ爲スモノニ對シテハ普通教育獎勵費等ヨリ夫々獎勵金
ヲ交附シ又郡市町村ニ於テハ優等ナル兒童、苦勤ノ兒童
等ニ對スル賞與ヲ行ヒ其ノ他教育會父兄談話會等ノ設置開催
農業實習地ノ設置等ヲ獎勵シ何レモ其ノ効果ヲ奏シツ、アリ
又往々勤勞ニ服シ且實業上ノ思想ヲ養成セシムル爲メ兒童ヲシ
テ養雞養蠶ヲ爲サシメ米麥病虫害ノ驅除ニ從事セシメタル所
アリ又舊小濱藩主伯爵酒井忠道ヨリ舊領地タリシ敦賀三方遠
敷大飯ノ四郡内小學校兒童賞與ノ委囑ヲ受ケ夫々之ヲ施行シ
タリ

將來學事施設上須要ノ件

- 將來學事施設上須要ト認ムル件左ノ如シ
- 學級兒童生徒ノ成績ヲ優良ナラシムルコト
- 優良ナル教員ノ供給ヲ裕ナラシムルコト
- 乙種程度實業學校ノ施設ヲ獎勵スルコト
- 實業教育ヲ獎勵スルコト
- 通俗教育ノ施設ヲ完全ナラシムルコト

公 學 費

明治四十四年度本縣及郡市町村公學費ノ概況ヲ敘述スレハ次
ノ如シ

縣公學費總額ハ貳拾貳萬貳千九百七拾圓ニシテ經常費拾八
萬七百拾六圓臨時費四萬貳千貳百五拾四圓ナリ之ヲ前年ニ
比スルニ經常費壹萬八千貳百六拾九圓臨時費千參百參拾參
圓ヲ増加シタルハ校舍建築費ヲ初メ代用教員並書記ノ俸給
旅費圖書器械標本費消耗品費等ニ於テ若干ヲ減シタルモ教
員優遇ノ爲メ俸給ヲ増シタルト其ノ他ノ各費ニ於テモ亦多
少ノ増額ヲ來シタルニ由ル

縣公學ニ屬スル收入總額ハ五萬參千貳百拾五圓ニシテ經常
收入參萬參千八百五拾七圓臨時收入四千圓基本財産トシテ
ノ收入壹萬五千貳百六拾八圓ナリ之ヲ前年ニ比スルニ經常
收入五千六百六十六圓臨時收入參百貳拾圓基本財産トシテ
ノ收入千參百八拾圓ヲ増加シタルハ基本財産利子ニ於テ
若干ヲ減シタルモ授業料其ノ他ニ於テ何レモ増加シタルニ
由ル

郡公學費總額ハ貳萬參千九百參拾五圓ニシテ經常費壹萬四

千六百八拾貳圓臨時費九千貳百五拾參圓ナリ之ヲ前年ニ比
スルニ經常費四千九百拾貳圓臨時費貳千六百九拾圓ヲ増加
シタルハ主トシテ大野郡立實業女學校ノ新設開校ニ因リ其
ノ費用ヲ要シタルニ由ル

郡公學ニ屬スル收入總額ハ六千九拾貳圓ニシテ經常收入貳
千貳百九拾貳圓臨時收入參千八百圓ナリ之ヲ前年ニ比スル
ニ經常收入八百六拾參圓臨時收入千八拾貳圓ヲ増加シタル
ハ是亦主トシテ大野郡立實業女學校ノ新設ニ因リ同校ノ收
入アリタルニ由ル

市公學費總額ハ五萬五千八百六拾壹圓ニシテ經常費五萬四
千百圓臨時費千七百六拾壹圓ナリ之ヲ前年ニ比スルニ經常
費ニ於テ七百壹圓ヲ増シ臨時費ニ於テ千七百五拾六圓ヲ
減シタルハ准教員及書記ヲ除ク外職員ノ俸給旅費雜給借
地借家費消耗品費ニ於テ何レモ増加シタルモ新營費及修繕
費ヲ要スルコト少ナク圖書器械標本費器具費等ヲ節約シタ
ルニ由ル

市公學ニ屬スル收入總額ハ壹萬貳千九百七拾四圓ニシテ之
ヲ前年ニ比スルニ五百參拾四圓ヲ増シタルハ授業料及縣費
補助等ニ於テ増シタルニ由ル

町村公學費總額ハ六拾五萬四千九百四拾七圓ニシテ經常費
五拾壹萬九千七百參拾貳圓臨時費拾參萬五千貳百拾五圓ナ
リ之ヲ前年ニ比スルニ經常費ニ於テ參萬四百參拾九圓ヲ増
シ臨時費四千四拾九圓ヲ減シタルハ書記ヲ除ク外職員ノ
俸給旅費雜給生徒給費借地借家費消耗品費及其ノ他ノ諸費
ニ於テ増シタルモ新營費及修繕費ニ於テ減シタルニ由ル

町村公學ニ屬スル收入總額ハ四萬參千七圓ニシテ前年ニ比
シ參萬四百九拾貳圓ヲ減少シタルモ基本財産ヨリ生スル收
入及郡費補助ニ於テ若干ヲ増シタルモ寄附金其ノ他ニ於テ
大ニ減少シタルニ由ル

公 學 資 産

本年度末公學資産ハ學校設備ノ漸整ニ伴ヒ縣郡市町村トモ何
レモ増加ナラサルハナシ今其ノ概況ヲ敘述スレハ次ノ如シ

縣公學資産ハ土地五萬五千四百八拾五坪建物壹萬參千貳百貳
拾參坪ニシテ之ニ其ノ他ノ物品ヲ合算スルトキハ價格五拾
參萬貳千貳百拾九圓(外ニ橋梁價參百拾參圓)ニ上リ前年ニ
比シ建物八拾貳坪價額八百五拾壹圓ヲ増加シタリ

基本資産ハ現在金額七萬七千四百拾五圓ニシテ外ニ本縣費
ハ繰入レアルモノ六千九拾九圓及本縣摸範誌費ハ繰入レ
アルモノ壹萬千六百九圓ニ及フヲ以テ總計九萬五千貳百貳
拾參圓ノ實際額トナリ前年ニ比シ壹萬千四百七拾圓ヲ増加
シタルモノナリ

郡公學資産ハ土地貳千貳百五拾貳坪建物九百壹坪ニシテ之
ニ其ノ他ノ物品ヲ合算スルトキハ價額貳萬八千四百參拾貳
圓ニ上リ前年ニ比シ土地千六百拾坪建物參百八拾坪價額八
千六百拾四圓ヲ増シタリ然レドモ未ダ基本財産ヲ有スルニ
至ラス

市公學資産ハ土地九千六百貳拾貳坪建物六千參百八拾四坪ニシテ之ニ其ノ他ノ物品ヲ合算スルトキハ價額貳拾壹萬七千九百圓ニ上リ前年ニ比シ價額貳千七百八拾壹圓ヲ増シタリ基本財産ハ現在金額參千八百四拾七圓ニシテ前年ニ比シ千九百圓ヲ増加シタリ

町村公學資産ハ土地拾壹萬五千八百八拾三坪建物六萬九千五百拾九坪ニシテ之ニ其ノ他ノ物品ヲ合算スルトキハ價額百七拾八萬五千貳拾五圓ニ上リ前年ニ比シ土地九千九百六拾四坪建物參千貳百六拾壹坪價額拾四萬五千四百拾七圓ヲ増加シタリ

基本財産ハ現在金額參萬貳千八百九拾七圓ニシテ前年ニ比シ七千貳拾九圓ヲ減シタリ是ハ小學校舎建築等ノ爲メ支出シタルカ爲メニシテ此ノ外得ガル所ナリ又田畑森林等ノ現在價額貳萬九千四百七拾九圓ニシテ前年ニ比シ大ニ減少シタル所以本年ハ收益ナキ財産ハ基本財産ト爲サレシトニナリシヲ以テ之ヲ除キタルニ由ル尙積立金ハ壹萬八百四拾六圓ニシテ前年ニ比シ六千百拾壹圓ノ増加ナリ

基本財産蓄積ノ方法ハ縣立學校ニ在リテハ師範學校中學校高等女學校ハ明治三十六年度以後五十年間實業學校ハ明治四十一年度以後四十五年間欠ノ金額ヲ蓄積スルノ定メナリ授業料師範學校ハ收入額全部中學校實業學校ハ收入額ノ十六分ノ三高等女學校ハ收入額ノ三分ノ一

入學試験手数料學資償還金生産物捕獲物並製作品及不用品賣却代金基本財産利子ノ全部

師範學校ノ分ハ前記各目ヲ併セ一箇年收入千圓ニ滿タサルトキハ全學校生徒諸費殘餘金ヨリ其ノ不足額ヲ補填ス其ノ他ノ學校ニ在リテハ經費ノ殘餘寄附金等ヲ以テ基本財産ヲ造設シ又學林等ヲ増設シ基本財産ニ編入シタルモ校舍建築等ノ爲メ之ヲ使用スルヲ以テ増殖充分ナラス

各學校維持ノ方法ハ縣郡市町村費ニ依ルチ主トシ國庫費及縣費郡費ヨリノ補助金授業料寄附金其ノ他ノ雜收入等ヲ以テ補助ト從前ノ如シ

教育資金

本年度ニ於ケル教育資金ノ收入ハ資金利子千七百七拾九圓拾五錢八厘貸付金返還八千百參拾壹圓前年度繰入金壹萬貳千六拾參圓貳拾五錢七厘國庫下附金六千七百九拾七圓拾貳錢計金貳萬八千七百七拾圓五拾參錢五厘ニシテ其ノ内壹萬貳千八百四拾圓ヲ小學校建築費ニ充用ノ爲メ貸附ケ貳千貳百六拾九圓

本縣

本縣ノ土壤ヲ構成スル岩石ハ火成岩及水成岩ニシテ

- (1) 花崗岩地ハ各地ニ現出スルモ各其占ムル所ノ廣袤甚タ狹隘ニシテ數郡ノ南部庄由村地方及三芳郡耳川ノ東西ニ於ケル地方ニアルヲ以テ其面積較大ニシテ多少農業ニ關係ヲ有スルモノトス其他數郡及三芳郡ノ兩部ニ跨リ半島形ヲナス土地ヲ構造スル本岩地亦大ナルモ地勢最モ山嶽ニ富ミ

參拾四錢ハ獎勵費ニ支出セリ其ノ獎勵費ニ支出シタル細別次ノ如シ

金貳千貳百六拾九圓參拾四錢 支 出

- 金貳百七拾八圓六拾六錢 小學校教員講習會費
- 金參百圓 成績優良ナル小學校ニ類スル各種學校ニ校獎勵金
- 金參百圓 通俗教育施設ニ關スル補助金一箇所分
- 金四百圓 成績優秀ナル小學校教員六名賞與金
- 金貳百參拾圓 學齡兒童就學獎勵費補助四町村分
- 金七百六拾圓 貧困學齡兒童保護費施設團體六十九團體ノ補助金
- 金六拾八錢 就學獎勵補助雜費

市町村立小學校教員加俸資金

年功加俸ハ教員中成績佳良ナル者ヲ選ビ從前ハ六月十二月兩度ニ給與シタルヲ廢シ本年度ニ於テハ隨時之ヲ給與シ又特別加俸ハ加俸令第七條第一項第四項ノ場合ニハ事實ノ發生シタル時ヨリ直ニ第二項第三項該當ノ場合ニハ成績佳良ノモノニ之ヲ支給シタリ

市町村立小學校教員住宅費

市町村立小學校教員住宅費補助ノ標準ハ前年ト同シク住宅建築費總額ニ對シ十分ノ四ヲ縣費ヨリ補助セリ住宅新設ノ學校ハ尋常四校尋常高等四校ニシテ住宅建設戸數亦之ニ同シ而シテ補助金額總計千七百拾參圓ナリ之ヲ細別スルハ次ノ如シ

- 補助金貳百七拾五圓 福井市立寶永尋常小學校
- 同 金貳百貳拾四圓 吉田郡志比谷村立志比谷尋常小學校
- 同 金貳百四拾五圓 大飯郡大島村立大島尋常小學校
- 同 金百四拾四圓 遠敷郡奧名田村立納田終尋常小學校
- 同 金貳百六拾七圓 吉田郡志比村立志比尋常高等小學校
- 同 金百四拾四圓 大野郡野向村立野向尋常高等小學校
- 同 金貳百八圓 遠敷郡中名田村立中名田尋常高等小學校
- 同 金貳百拾圓 同郡三宅村立三宅尋常高等小學校

地質

耕地ハ山腹傾斜ノ地ニ於テ散在スルヲモ

- (2) 石英綫岩地ハ大野郡ノ各所及吉田 足羽ノ兩部ニ跨リテ現出スルモ其面積大ナラス其地勢亦峻嶮ニシテ耕耘ニ適スル地甚狹少ナリ
- (3) 火山岩地ハ三大區域ニ分レテ現出シ其廣袤甚タ大ナリト雖モ現在ノ耕地ハ甚狹少ナリトス本地質ニ係ル土壤ハ